



梶田の里

八王子市立梶田中学校

令和5年11月21日

学校だより No.11

〔教育目標〕 ○進んで学習する人になろう ○仕事に精を出す人になろう ○心身ともに健康で思いやりのある人になろう

「ふれあい月間」(朝礼講話)

校長 関山 一樹

11月となりました。朝晩は寒さが少しずつ厳しくなってきました。今月は「ふれあい月間」と呼ばれて、都内の全ての学校で教育相談やいじめ防止強化を図っています。

梶田中学校でも、先月の下旬より3学年は進路の三者面談、1学年と2学年は二者での教育相談を実施しました。特に、1学年と2学年の教育相談では、これまでの学校生活の振り返りや、友人関係なども話題になったと思います。集団で生活する中では、ちょっとしたことで嫌な思いをしたり、逆に気付かずに嫌な思いをさせてしまったりすることもあります。現在はそうしたことも、広い意味で「いじめ」として捉えるようになりました。まずは自分たちで、そうした問題にも対応して、社会で生きていく力を伸ばすことが大切です。しかし、自分たちだけでは解決できないことも当然あります。そうした時には一人で悩まずに一步踏み出して、ぜひ周囲の話しやすい大人に相談してください。

さて、梶田中学校の長所のひとつに「あいさつ」が挙げられます。あいさつとは人と人とを結ぶ第一歩であること、また、相手の心に近付くための第一歩だと思います。生徒たちは登下校時や教室、廊下等で気持ちの良いあいさつをしてくれます。また、校長室の前を通るときまで、私にあいさつをしてくれる生徒もいます。扉の所に立ち止まり、会釈をしながらあいさつしてくれる生徒や、時には私に手を振りながら元気にあいさつをしてくれる生徒もいます。日々、幸せな学校生活を過ごさせていただいています。今後も、元気な「あいさつ」で溢れる梶田中をみなさんと作っていきましょう。なぜなら、「あいさつ」は良好な人間関係をつくる第一歩ですから。

～挨拶についての名言格言語録全7件～

「人に好感を持たれたければ、誰に対しても挨拶をすることだ。挨拶ほど簡単でたやすいコミュニケーション方法はない」 デール・カーネギー（実業家・作家）

「挨拶とは何か、それは『心を開いて相手に迫る』ということです」
鈴木健二（NHKアナウンサー）

「挨拶からすべてが始まる。大きな声で挨拶すると、相手の『心の扉』が開く。だから、世界が広がり、幸せに満ち溢れる」 渡邊美樹（ワタミグループ創業者・参議院議員）

「マナーのある人が先に挨拶する」 奥脇洋子（マナー・コンサルタント）

「挨拶は、人間らしく生きるための基本の心である。親に挨拶の心がないと、それは必ず子供にも表れる」
野村克也（プロ野球監督）

「暗い人でも日ごろから大きな声で挨拶をし、前向きな言葉を使うようにしていれば、次第に考え方が楽観的になって、性格も明るくなります。実際、私はそうやって変わった人を何人も見てきました」 澤田秀雄（旅行会社HISの創業者）

「勉強もスポーツも大事だが、何より大事なのは挨拶。挨拶さえしていれば何とかなる」 橋下徹（大阪市長）

人を気持ちよく
させる方法って
たくさんあるけど、
挨拶ってその中の
一つだよな。
ビートたけし